



庄司さんから田植え機の仕組みや構造について学ぶ生徒たち＝丹波篠山市福住で

## 農業機械の仕組み学ぶ

東雲高2年 「教え実践したい」

篠山東雲高校の「アグ」で、農業機械学や農作業リプログラム類型」を選学が専門の さんを招いた。

ほと、田植え機やコンバインといった、農業用機械の構造や仕組みについて専門家から学んだ。

プロから高度な技術や知識などを学ぶ県の「ひょうごの達人招聘事業」を活用。神戸大学大学院農業研究科准教授

生徒たちは さんの話に聞き入り、熱心にメモしていた。

君（西紀中出身）は、「教えてもらったことを来年の田植えやコメの収穫に生かし、実践したい」と話していた。同校はコシヒカリ（約0・8㌧）のほか、「五百万石」（約70㌧）、「Hyogo Sake 85」（約50㌧）の酒米2品種を栽培している。

2021年10月3日  
丹波新聞